

明日から春休みが始まります。4月からは新1年生が入学してきます。この1年間、あっという間に過ぎてしまったと感じている生徒が大多数だと思います。毎年、進路先が決まった3年生と話をしても、「高校時代は短かった、もっと早くから勉強しておけばよかった。」という話題が必ずでてきます。2週間しかない春休みですが、次のステップに備え、しっかりと基礎を固めておきましょう。また、高校時代の春休みを利用して遠方の大学に足を運び見て回ったという卒業生もいました。自分が進む道を考えるにもいい時期です。

キャリアセミナー・・・「自分は社会でいかに生きるか」を考える・・・

3月21日(火)に1年次生を対象に「キャリアセミナー」を実施しました。社会で活躍している職業人の様々な経験や仕事の話を通じて、職業・社会について理解を深め、生徒一人ひとりが自分の生き方を考えることを目的とした行事です。今年も、本校卒業生の方々にも、多数、講師としてご協力をいただき、以下の14講座を開講しました。受講後の生徒の皆さんの感想を、一部ですが掲載しました。

講師(敬称略)	所属	講座タイトル
川村 真紀	外務省国別開発協力第1課・課長補佐	“いきなり”外交の世界を覗いてみれば ～外交官として歩んだ20年～
板橋 知子	宮城県仙台家畜保健衛生所・獣医師	動物の治療だけじゃない!生活に身近な獣医師
佐藤 明子	佐藤明子税理士・社労士事務所	私、税理士、自営業!
小笠原 悠	東北放送株式会社・ラジオ局編成業務部	1チャンネルで創造中
櫛田 嘉代	あなたの事業アシスタント・統括秘書	後輩のみなさんへ
佐藤 知圭子	LIXIL ショールーム仙台	2度の転職と大企業・正社員になるまでの10年 そして、これからの生き方
佐藤 しづ香	大学新聞社仙台支局	約2万8千ある職業の中からあなたはどれを選びますか?
菊池 輝	東北工業大学・教授	研究を仕事にするということ
菊池 哲佳	仙台観光国際協会・多文化共生コーディネーター	多文化社会で生きる、働く
吉岡 麻也	医療法人松田会 松田病院・薬剤師	病院薬剤師のリアル
佐々木 慎太郎	佐々木慎太郎行政書士事務所	ドローンで社会貢献!選ばれる人材になるために
武田 武士	武田の笹かまぼこ・代表取締役専務	働くとは? 今後の自分をどう描く?
岩崎 心平	東日本放送・アナウンス部・CSR広報	マイク片手に6198日!!!～TV局の仕事って?～
西村 康治	近畿日本ツーリスト	旅で人生に感動体験を。

“いきなり”外交の世界を覗いてみれば～外交官として歩んだ20年～ 講師：川村 真紀先生

人と人とのつながりやコミュニケーションが大切だときき、外交官はただ言語を伝えるだけではない橋渡しの役割もあるとわかりました。女性であることで軽く見られたり不利になることもあるけれど、物事を柔軟に捉えられたり、女性であるメリットを自分で見つければ生かしていけるというのが印象に残りました。(普通科 女子)

「動物の治療だけじゃない!生活に身近な獣医師」 講師：板橋 知子先生

獣医師=動物の病気を治す、というイメージしかなかったのですが、あらゆるところで獣医師が活躍していることを知りました。(中略) 食品や動物の感染症にも関わっていることには本当に驚きましたが獣医師ってすごいなと改めて思いました。病理検査に興味を持ったので調べてみようと思います。(理数科 女子) (裏面に続きます。)



あなたの事業アシストオフィス・統括秘書 講師：櫛田 嘉代先生

夢を無理にもたなくてもよいというお話が印象に残りました。夢や目標を持ったほうがよいという話をよく学校でされていたので意外だと感じました。私も将来の夢が昔からなく、目の前の事だけ考えて生きてきました。(中略) 今日の先生のお話を聞いて今までの自分が肯定されたような気がしました。これからも興味を持ったことに積極的に取り組んで、いつか夢や目標ができたらいいと思いました。(普通科 女子)

ドローンで社会貢献！選ばれる人材になるために 講師：佐々木慎太郎先生

「固定概念にとらわれず新しいものもとりにこんでいく」という言葉が印象に残った。時には思い切りも大切。ドローンや新たな技術の発展が楽しみ。(理数科 男子)

働くとは？ 今後の自分をどう描く？講師：武田 武士先生

「どんな仕事ができる人なのか」「どんな人が経営の立場にいられるのか」ということが少しわかった気がしました。私はよくつらいことから逃げてしまっている面があるので「ラーニングゾーン」に身をおくことをこれからの生活で意識しようと思いました。(普通科 男子)

マイク片手に 6198 日！！～TV 局の仕事って？～講師：岩崎 心平先生

放送部として放送のお話をうかがうことができてよかった。先生が毎日野球場や競馬場に通い実況の練習をして突然できるようになったことを知った。今、自分が勉強しても部活でアナウンスの練習をしてもなかなか成果が見えないが、あきらめずに続けることが大切だとわかった。(普通科 女子)



全国の高校生は何を基準に大学を選んでいるのだろう？

『大学ランキング (2016 年度版)』(朝日新聞出版) より
 高校進路指導教諭が見た生徒の大学受験観
 大学を選ぶ傾向や基準など

	項目	人
1	国公立大学	522
2	現役思考が強い	507
3	自宅から通える	415
4	有名大学	327
5	推薦入試での入学	301
6	オープンキャンパスで決める	270
7	難関大学	268
8	入れる大学	241
9	資格取得に有利	231
10	興味がある学問を学べる	200

(複数回答可)

左の表は、全国の高校の進路指導教諭がアンケートに回答したものです。多くの高校生が、地元の(自宅から通える)国公立大学を現役で目指しているということになります。

宮一の先輩がどうやって志望校を決定したのかについては、「進路の手引き」の合格体験記を参考にして下さい。多くがオープンキャンパスをきっかけに志望校を決定していますが、その前にじっくり自分自身と向き合っていることが分かります。

入学後のミスマッチを避けるには、自分が学びたいことを学べる大学を目指すべきです。入りやすいとか通いやすいということだけで大学を選ぶのではなく、そこで何を学ぶのかということが大事です。複数の大学を視野に入れて学習を進めておくことも大切です。

また、受験科目が少ないということだけで、安易に私立大学に絞り込むのは危険です。今年度の本校の入試結果を見てみると、MARCHレベル以上の私大合格者は多くが国公立大学への進学者です。私大受験は、

科目が少ない分、1 教科にかかる負担やリスクが大きいのです。特に文系の場合は英語の学力が合否を左右します。